

平成26年度 同好会事業報告

カウンセリング 同好会 世話係名 嶋田 秀樹 会長名 田幸 康宏

月 日	実施した事業内容	参加人員
5月2日	第1回同好会 自己紹介、今年度の計画	6名
	打ち合わせ会 会が実施できなかつたのでメール等で連絡を取り合い下記講習会の準備を行った。	
7月30日	夏期講習会 講演会とミニカウンセリングの演習 「心を『聴く』ということ～ミニカウンセリングと実践」 講師：寺島洋子先生（長野県ミニカウンセリングで学ぶ会・元中野市立平岡小学校長） 前半は、カウンセリングの基本的な事項や先生のご経験に基づいたご講演、後半はミニカウンセリングの演習を行った。	7名
	まとめの会 今年度の反省と来年度に向けて	

今年度のカウンセリング同好会は、メンバーが減ってしまい、またそれぞれのメンバーが多忙であり、定期的に会をもつことができませんでしたが、自分自身の実践を振り、じっくりと考えあう場を大切にしてきました。

今年度も、夏休み中に、長野県ミニカウンセリングで学ぶ会（前中野市立平岡小学校長）の寺島洋子先生を講師にお招きして、「心を聴くということ」というテーマでご講演をいただきました。先生は、ご自宅の一部を「わいわいカフェ」として地域の方に開放して集う場を設けることや、定期的に東日本大震災の被災地の訪問を続けておられ、そうした日頃の実践を通して考えられていることを優しく語っていただきました。悲しい出来事やつらい現実もありますが、あきらめずに、「今、ここ」を大切に生きていきたいという言葉が、強く心に残りました。そして、確かな学びに支えられた感性で子どものサインに気づき、子どもの土俵に踏み込んでしまうのではなく真に寄り添い、一人で抱え込まずに、ネットワークを広げていくこと。私たちが大切にしていきたい姿勢を語っていただきました。

後半は、今年もミニカウンセリングの演習を行いました。カウンセラーとクライアントの役を経験することで、相手を尊重して心を傾けて「聴く」ことの大切さを改めて感じることができました。忙しい日常の中で、いかに「聴く」ことができていないかを思い知らされました。また、「今ここで経験していることを意識化して、できるだけ正確に言語化する」という地道な積み重ねが大切であることも実感できました。

カウンセリングの方法を、日頃の子どもたちや保護者の方との関わりにそのまま生かすことはできませんが、ここで学んだカウンセリングマインド、真に寄り添い、心を傾ける姿勢は、ぜひ、今後の実践に生かしていきたいと思います。

(会長 田幸 康宏)